

令和6年7月の大雨被害を踏まえ、 災害時を想定したオンライン診療モデル事業を戸沢村で実施します

【集合時間・取材行程等】

- (1) 集合時間 令和7年7月24日(木) 13時45分 ※取材受付は13時30分から
 (2) 集合場所 特別養護老人ホームまごころ荘(山形県最上郡戸沢村蔵岡2759)
 (3) 取材行程・内容

時間	内容
13時45分	現地集合、担当者から撮影に関する説明
14時00分	① オンライン診療訓練開始(診療シーン撮影)
14時30分	② オンライン服薬指導訓練開始(服薬指導シーン撮影)
14時45分	③ 関係者インタビュー
15時00分	終了予定

- (4) 参加者 患者役：加藤文明 戸沢村長、(社福)清流会 菊地英司理事長
 医師：戸沢村中央診療所 渡邊孝弘医師
 薬剤師：ほし薬局 滝田崇人薬剤師

1 事業背景

- オンライン診療は、情報通信技術の発展や地域の医療提供体制、医療ニーズの変化に伴って、近年ますます需要が高まっており、特に交通の便が悪い山間地や離島において有効と考えられている。
- 県内どこに住んでいても質の高い医療を享受できるようにする必要があるが、特に、へき地等では医師の確保が困難となってきたことや医師の派遣が負担となっていること、患者の交通アクセスの負担や災害等有事の対応が課題となっている。

2 事業経緯

- 県では、オンライン診療モデル事業を令和4年度より実施しており、これまでの取組みにより、医師のへき地診療所への移動の負担が軽減されるとともに、情報通信機器の操作に不慣れな高齢者等でも看護師等の適切なサポートによりオンライン診療による診察等を受けることが可能であること等が分かった。
- 令和6年7月の大雨災害を踏まえ、医療機関の被災や患者の通院が困難な状況下におけるオンライン診療の活用可能性を検証するため、今年度は災害時を想定したオンライン診療モデル事業を実施していく。

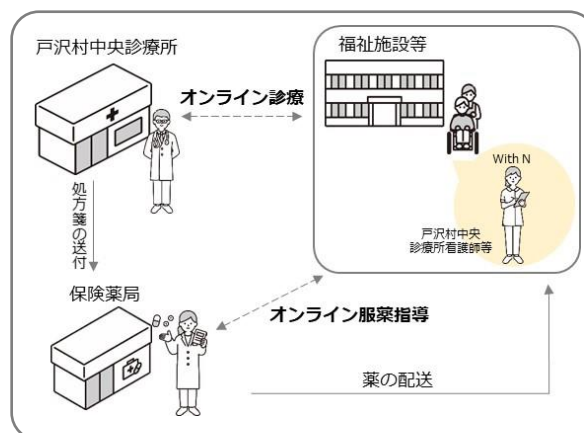
3 災害時を想定したモデル事業実施のイメージ

(1) 協力施設

戸沢村中央診療所、保険薬局、福祉施設

(2) 方法

- 災害時、一定の期間、医師・薬剤師等の施設間往来が困難となる事態が発生した場合を想定し、福祉避難所における医師のオンライン診療及び薬剤師のオンライン服薬指導を訓練形式で実施。
- 診療所・保険薬局にオンライン診療に必要な機材やシステムを設置し、通信回線で結ぶ。



4 期待される効果

平時からオンライン診療・服薬指導に習熟し、災害時にも速やかに対応できる体制整備を目指す。